

医療分野研究開発推進計画の目標達成状況について【総括表】

資料1-3

達成目標	最新数値	進捗
相談・シーズ評価 1,500件	1,659件	A
有望シーズへの創業支援 200件	142件	B
企業への導出(ライセンスアウト) 5件	225件うち創業支援ネットワーク:9件	A
創業ターゲットの同定 10件	33件	A
医療機器の輸出額を倍増(2011年約5千億円→約1兆円)	6.7千億円:2018年	B
5種類以上の革新的医療機器の実用化	1件	B
国内医療機器市場規模の拡大 3.2兆円	2.90兆円:2018年	B
医師主導治験届出数 年間40件	21件	B
First in Human (FIH) 試験(企業治験を含む。)年間40件	30件	B
iPS細胞技術を活用して作製した新規治療薬の臨床応用(臨床研究又は治験の開始)	-	A
再生医療等製品の薬事承認数の増加	1品目	A
臨床研究又は治験に移行する対象疾患の拡大 35件	47件	A
再生医療関係の周辺機器・装置の実用化	-	A
iPS細胞技術を応用した医薬品心毒性評価法の国際標準化への提言	達成	A
糖尿病などに関するリスク予測や予防、診断(層別化)や治療、薬剤の選択・最適化に係るエビデンスの創出	-	A
発がん予測診断、抗がん剤等の治療反応性や副作用の予測診断に係る臨床研究の開始	-	A
認知症・感覚器系領域のゲノム医療に係る臨床研究の開始	-	A
神経・筋難病等の革新的な診断・治療法の開発に係る臨床研究の開始	-	A

達成目標	最新数値	進捗
日本発の革新的ながん治療薬の創出に向けた10種類以上の治験への導出	15種	A
小児がん、難治性がん、希少がん等に関して、未承認薬・適応外薬を含む治療薬の実用化に向けた12種類以上の治験への導出	31種	A
小児がん、希少がん等の治療薬に関して1種類以上の薬事承認・効能追加	1種	A
いわゆるドラッグ・ラグ、デバイス・ラグの解消		A
小児・高齢者のがん、希少がんに対する標準治療の確立(3件以上のガイドラインを作成)	3件	A
認知症の診断・治療効果に資するバイオマーカーの確立(臨床POC取得1件以上)	0件	A
日本発の認知症の疾患修飾薬候補の治験開始	0件	A
精神疾患の客観的診断法の確立(臨床POC取得4件以上、診療ガイドライン策定5件以上)	臨床POC 1件 ガイドライン 5件	A
精神疾患の適正な治療法の確立(臨床POC取得3件以上、診療ガイドライン策定5件以上)	臨床POC 3件 ガイドライン 3件	A
脳全体の神経回路の構造と活動に関するマップの完成	-	A
得られた病原体(インフルエンザ・デング熱・下痢症感染症・薬剤耐性菌)の全ゲノムデータベース等を基に、薬剤ターゲット部位の特定及び新たな迅速診断法等の開発・実用化	-	A
ノロウイルスワクチン及び経鼻インフルエンザワクチンに関する非臨床試験・臨床試験の実施及び薬事承認の申請	-	A
新たなワクチンの開発【2030年まで】	-	A
新たな抗菌薬・抗ウイルス薬等の開発【2030年まで】	-	A
WHO、諸外国と連携したポリオ、麻疹等の感染症の根絶・排除の達成(結核については2050年までの達成目標)【2030年まで】	-	A

達成目標	最新数値	進捗
新規薬剤の薬事承認や既存薬剤の適応拡大を11件以上達成(筋萎縮性側索硬化症(ALS)、遠位型ミオパチーなど)	7件	A
欧米等のデータベースと連携した国際共同臨床研究及び治験の開始	1件	A
未診断又は希少疾患に対する新規原因遺伝子又は新規疾患の発見を5件以上達成	29件	A

※ 特段の記載のないものは2020年までの目標
 ※ 「最新数値」は、特段の記載のない限り2020年3月31日時点の計数
 ※ 進捗: A. 順調に進捗している B. 進捗が不十分 N. 現時点で評価が困難
 ※ 進捗A評価の項目のうち、最新数値が達成目標を下回っている項目に関する考慮事項等については、資料1-1の各達成目標における「進捗の詳細(含む成果と要因分析)」の欄を参照